

田中千代子
議員

H*ヒ*b*ブ*ワクチン接種費用の助成をすべき
今後の検討課題とする

問 H*ヒ*b*ブ*ワクチンに助成を
H*ヒ*b*ブ*ワクチンは乳幼児の細菌性髄膜炎の予防に有効であることから、東京都はワクチン接種費用の補助を行う区市町村に対し、平

成21年4月から包括補助制度を活用し、支援を行うとしている。幼い命を細菌性髄膜炎から守るため、H*ヒ*b*ブ*ワクチン接種費用の助成をすべきと思うが、市の見解を伺う。

健康福祉部長

H*ヒ*b*ブ*ワクチンは、b型インフルエンザ菌による感染症を予防するワクチンで、東京都の医療保健政策区市町村包括補助事業では、任意予防接種事業を支援することを目的に、法定疾患以外の疾患を対象に平成21年度より補助対象とされた。本市としては、細菌性髄膜炎が予防接種法に基づく定期予防接種として規定されていないこともあるので、H*ヒ*b*ブ*ワクチン接種希望者の動向等を見ながら今後の検討課題とする。当面は、関係機関の協力を得ながら定期予防接種の接種率の向上に努めたいと考えている。

女性特有のがん検診手帳



郷土の恵みの森構想実現に向けての方策は
市民と協働の中で夢の持てる構想にしたい

清水晃
議員

問 郷土の恵みの森構想について
① 背景と目的は。
② 同構想のモデルは無いのか。有ればその具体例は。
③ 本年度事業は何を実施するのか。
④ 東京都の施策との連携と受皿はあるのか。
⑤ 構想実現に向けての方策は。

企画政策部長

① 本市の森林資源を、市民、都民の共通財産と位置づけ「森と人との新たな共生の姿」を創出する。
② モデル事業はないが、保全と活用の方角を探り、国・東京都などの取組みを参考にしていきたい。
③ 森林の動植物の生息、生育の状況及び地形等の把握をするため、森林特性評価を実施する。その結果、地域交流会等を経て今年度中に構想を策定する。また、



自然の宝庫あきる野

「菅生若宮地区子ども体験塾」事業も実施する。
④ 本構想は、東京都策定の「森づくり推進プラン」「多摩振興プロジェクト」による森林整備の方向性と整合するものである。
⑤ 市民と協働の中で練り上げ、夢の持てる構想にしていきたい。

他に、地上デジタル放送について及びCO₂の削減について質問した。

澤井 敏和
議員

雨水側溝ふたの騒音苦情は

騒音に関係する要望があり6箇所の補修工事を実施



騒音の原因となる側溝のふた

問 安心安全まちづくり
雨水側溝の騒音対策につ
いて伺う

① 雨水側溝ふたの騒音苦
情はあるか。

② 安心安全まちづくりの
点から、雨水側溝ふたにお
ける、騒音の環境改善は必
要不可欠であることから、
今後、側溝騒音に対する計

画的な改修ができるか。
③ 現況の調査は行うか。

都市整備部長

① 平成20年度は、市民か
らの側溝騒音に係る要
望があり、6箇所補修工
事を行った。

② 計画的に暗渠化を進め
ることは、財政的に困難で
あるので、騒音対策の要望

苦情など現場の状況により
暗渠化が必要な箇所は、そ
の都度側溝埋設型枠など
有効な方法で、対応をした
いと考える。

③ 調査は維持管理を進め
るうえで、大事なことで
あるので、今後も調査に努めて
いく。

*暗渠：地下に埋設したり、ふ
たをかけたたりした水路

問 市民活動・地域事業へ
の支援について
団塊世代の退職者の増加
や、女性の社会進出の増加
などから、地域社会での活



NPO団体主催による本庁舎コミュニティホールでの演奏会

動の場を求める市民も増え
てきている。そうした背景
から、これまで以上にNP
Oやアントレプレナーへの
支援を進めて行くことが必

企画政策部長

本市では、「市民との協
働のまちづくりを進めよう」
をスローガンに掲げ、様々
な課題を地域の力で解決で
きるような仕組みづくりに
取り組んでいる。特に平成
21年12月に発足した防災・
安心地域委員会は、町内会・
自治会が中心となって、新
たな地域コミュニティを実
践した代表例である。

将来に向けては、高い知
識と技術を有する人材が参
加する新たな組織づくりが
期待されるので、市民活動
やNPOの立ち上げなどに
対しての側面的な支援を検
討したいと考えている。

畠中

克賢
議員

NPO基金創設をどのように考えているか

側面的な支援を検討したい

要ではないか。そこで以下
について伺う。

NPO基金の創設につい
て、どのように考えている
か。

*アントレプレナー：事業を起
こす人。起業家。企業家。

問 社会的弱者（高齢者、身障者）の交通手段確保について

① 要支援以前の高齢者を初めとする社会的弱者の日常生活の外出を確保すべく、乗車定員10人程度の小型自動車を五日市出張所及び本庁舎に常駐させ、無料で利用させては如何か。

「るのバス」より安価な小型自動車の導入は
幅広い角度で検討を進める

奥秋 利郎
議員

るには購入経費として1台1200万円掛かる。また昨年度の年間維持経費は930万円と聞く。小型自動車の購入経費は諸費用込みで250万円程度であり、小型自動車4台分でも「るのバス」1台よりはるかに安価となる。「るのバス」で乗車代を100円とするより、小型自動車で乗車代を無料にしても、きめ細やかなサービスが提供出来ると考えるが如何か。

健康福祉部長

① 市では、高齢者等移送サービス事業、心身障がい



乗車定員10人程度の小型自動車

者（児）が通院及び生活圏拡大に利用する交通機関の利用者の負担を軽減するため費用の一部を助成しているほか、JＲ、民営バス、タクシーの割引制度がある。

副市長

② 本市は、東西に長くふところが深いという地形的な特性があり、運行するにも、非常に効率性が悪い形状になっている。公共交通のあり方というものについて、現在循環バス等地域交通検討委員会で検討しているが、支援策も含め、今後幅広い角度で検討を進めていきたいと考えている。

影山 保
議員

あきる野市で非核平和都市宣言を！

市民がこのような運動を望んでいるか把握していない



広島市民が描いた原爆の絵展

問 オバマ米大統領は本年4月、「核兵器のない世界」の実現に道義的責任があると述べ、核兵器廃絶への決意を表明した。

唯一の被爆国日本でも「非核平和都市宣言」の自治体

うことか。

② 「宣言の有無にとらわれず、世界平和への希求に向けて不変の信念を持って行動する」と答えるならば、宣言することに何の障害もないのではないか。なぜ、できないのか。

市長

① 核は、自治体では制御できないというのは現実的な問題であり、市町村で宣言を行ったところで、どういう行政行為を行うのか、どういふ政策をたてるのか、その辺に限界があると思う。理念はわかるが、市民がこのような運動を望んでいるか十分把握していない。

② 「非核平和都市宣言」を行うことがいけないとは思っていないが、行政府として行うことに空しさを思わざるをえない。また、何の必要性も感じないということを申し上げざるを得ない。

お知らせ

インターネットで会議録と 議会だよりもご覧になれます。

あきる野市役所のホームページに市議会の会議録検索コーナーがあり、平成7年9月以降の本会議、常任委員会、予算特別委員会及び決算特別委員会の会議録が掲載されています。

また、平成18年5月1日以降に発行した議会だよりも、検索できますので、是非ご覧ください。

あきる野市役所のホームページ【<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>】から「議会会議録」または「あきる野市議会」を検索し、ご覧ください。

請願・陳情はお早めに

9月定例会では8月24日(月)までに提出された請願・陳情を審査します。なお、請願・陳情の内容などをお尋ねする場合がありますので、提出される方は、早めに議会事務局までご持参ください。

議場の雰囲気を目と耳で

傍聴席はみなさんを待っています。
お気軽にどうぞ！
先着順（一般39席・車イス2席・記者5席）

9月定例会予定

9月1日(火)	初日	一般質問
2日(水)	2日目	一般質問
3日(木)	3日目	一般質問
4日(金)	4日目	議案審議
8日(火)		総務委員会
10日(木)		環境建設委員会
11日(金)		福祉文教委員会
15日(火)		決算特別委員会
16日(水)		決算特別委員会
25日(金)	最終日	委員長報告・追加議案審議

～「身近な議会」「開かれた議会」を目指し～

本会議の様様をインターネット(録画)で配信中！

議場での本会議の様様を市のホームページからご覧いただけます。

現在、平成21年6月定例会の本会議、7月臨時会の様様を配信中です。ご利用をお待ちしております。

あきる野市ホームページ (<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>) の「議会中継」を検索しご覧ください。

クイズの答え

問1.「① 9月1日」 問2.「③ あきる野市民プール(草花)」

問い合わせ

議会事務局へ ☎ (558) 1111

夏の風物詩 蝉セミ



蝉の鳴き始めとともに夏の訪れを感じる方は多いのではないのでしょうか。今回は、夏の風物詩として、蝉をご紹介します。

蝉は、卵→幼虫→成虫という順番で、蛹ユウにならずに幼虫から成虫になるめずらしい虫です。日本の場合、セミが現れるのはおもに夏ですが、ハルゼミのように春に見かけるものもいます。

成虫期間は1、2週間ほどと思われていますが、実際には地上で1か月くらい生息するそうです。しかも、幼虫として地下生活する期間は3年から17年に達し、短命どころか、昆虫類では上位に入る寿命の長さをもっているというのは驚きです。

鳴き声や鳴く時間帯は種類によってちがいがあります。たとえばクマゼミは午前中、アブラゼミやツクツクボウシは午後、ヒグラシは朝夕に、ニイゼミは1日中鳴くことが多いようです。

蝉の鳴き声を聞くと、子どもの頃の夏休みが思い出されます。また、夕暮れ時に鳴くヒグラシは、なんとなく儚はかなさと切なさを感じさせる印象があります。蝉は、まさに夏のイメージを象徴するものでありますね。

江戸時代の俳人 松尾芭蕉が山形県の山寺を訪れた際に読んだ有名な俳句に蝉が登場しています。

「閑さや 岩に染み入る蝉の声」

クイズ

問1 次回開催の平成21年第3回（9月）定例会はいつから開催されるでしょうか。

- ① 9月1日
- ② 9月2日
- ③ 9月3日

問2 今号の表紙の写真はどこのプールでしょうか。

- ① いきいきセンター
- ② 五日市ファインプラザ
- ③ あきる野市民プール（草花）

答えは19頁の中にあります。

議会だよりに対するご意見・ご感想などをお待ちしております。

〒197-0814 あきる野市二宮350

あきる野市議会事務局

編集後記

◆今世紀最大の日食があり、その観測に一番適したトカラ列島悪石島あくせきじまには、島民70名を大きく超す200名余の人が来島するとのニュースがあった。この日食を観るには専用のメガネが必要であると言っていた。

◆我々が小さい頃は、色つきの下敷きや、すすガラスで見えていたが、これは眼に悪いとのことである。

◆すすで手を汚しながら日食を観ていた小さい頃を懐かしく思い出す。

◆「議会だより」の編集作業は、中学生くらいから理解できるような文章、内容の結集に努めていきたい。

◆皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

編集委員長 中村 雅一